

## 第7回 核データ・グループ会合議事録

日 時 : 昭和42年3月14日 后1時～5時半

場 所 : 原研(東京本部 第一会議室)

出席者 五十嵐, 浅見, 大野, 田中, 中村, 村田, 大久保  
中島(豊), 神田, 更田, 八谷, 森口, 岡本, (菊池)  
(山田)

<議長> 更田 ; <書記> 岡本.

### 前回議事録確認

前回議事録が手違いで会場になかったため確認は次回にまわす。

### 議 題

#### 1. 運営委員会の報告(五十嵐)

- 原研技術情報部長長山氏のIAEA情報収集の索引収録についての活
- CarbonのStandard Cross Sectionの評価について
- 41年度予算執行経過の報告
- 42年度予算(0次案)

熱化グループ ~ 200万

炉定数 ~ 250万

核データ ~ 200万

Cのevaluation ~ 50万

運営費 ~ 280万

(内訳) { 旅 費 177万  
会 議 費 15万  
人件費(アルバイト) 80万(4人)  
印 刷 12万

- 前日の運営委における第10回EANDC(於トルコ)の百田委員長報告の紹介
- JNDC Newsの今後の進め方は大体従来通りの予定
- 40年, 41年度のJNDC活動報告を原子力学会誌に投稿する予定

2. 第5回データシート整理班報告(岡本)

整理班報告は添付書類として提出 Not Completed についての取扱いなどの討論に関連し、データ収集についての討論があつたが次回にこの問題を重点に更に検討することになつた。

二、三の問題の提起は添付書類に記述。

収集作業の大福帖については、早急に整備が望まれる。

3. Computer Index について(田中, 森口, 山田)

1966年発行の論文については記入は自由であるが、既に提出されたものについて記入上誤解のあつた所などの説明があり、 — 添付書類 —

Computer Index of Compiled Nuclear Data プログラム用コード (GIANT) についての説明があつた。

4. STAF の作成報告(八谷)

予算100万、80万円で契約 9割以上完了しているが、Prompt neutron のところで角分布の入る所が残っている。

5. COMFORD 経過報告(更田)

IBMにプログラム依頼しTest用データ(INPUT, OUTPUTの例)を送付した。次回位に報告が出来るであろう。

6. 42年度計画(五十嵐)

42年度計画の案として以下をあげる。次回に討論したい。

- ① 文献調査, 核データの収集整理, 格納
- ② COMFORD の作成とそれによる解析
- ③ 既成コードによるデータのプロダクションと評価
- ④ 核データの評価作業 : (n, 2n) など
- ⑤ 計算コード作成
  - 5-1 Loppler Effect を考慮した共鳴領域
  - 5-2 光学模型と共鳴準位公式を組合せたコード
  - 5-3 Non - Local Optical Model

7. Information and Request for Evaluation (更田, 五十嵐)

これは昨年1月EANDCより提出のRequestがあつたが返事を出さなかつたものである。これについては次の運営委員会でやり方を討議することになつてい  
る。(EANDC 64 "A" 及び 65 "A" を参照)

8. 43年度概算要求

Remind しておいてほしい

9. その他

次回整理班(第6回)大野, 菊池, 大久保, 田中, 中島(籠), 五十嵐

次回議長 八谷氏 (予定)

書記 大久保氏 (予定)

次回議題

核データ収集作業の進め方を重点とし 42年度実行計画の討論を行う。

4月18日か4月19日

以 上